

寄せられた声

- ・不動山の路線バスが無くなってしまうので対策を考えてほしい。
- ・不動山の交番も廃止になる。パトロールはするらしいが防犯面で心配。また、交番の建物は残るらしいが、警察も計画しきっていないので有効活用できれば。
- ・JRバスはいきなり無くなってしまうのか。東彼杵はコミュニティバスが早くから走っている。JRも市もよく考えて、地域交通の確保がんばってほしい。
- ・タクシー会社も乗務員不足で、業務縮小したり倒産といった話が聞こえる。乗合タクシーも長くは続けられなくなるのではないかな。
- ・JR九州はホテル事業や開発事業で収益を上げるだけでなく、地域の交通維持にももっと力を入れてほしい。
- ・大野原の乗合タクシーが、大野原発となっていて、大野原まで登る回送便に乗ることができない。大野原小中学校からも以前から要望がでていた。乗れるようになれば、大野原小中学校への留学生が増えるのではないかな。不動山も同様の状況。
- ・小中学生の送り迎えが増えていて、親も負担だし、交通的にも混雑していて歩いて通う子どもたちの交通の安全確保が課題となってくる。思い切ってスクールバスを走らせることはできないかな。負担も少額とすれば利用する人も多いと思う。
- ・デマンド運行も良いが、吉田のヨッシー号のように時間を決めて運行してもらえると、定期的に乗る人たちの間での交流の機会となるのではないかな。
- ・自動運転車はどうなったのか。路上駐車など問題があるのか。
- ・塩田庁舎から嬉野庁舎までの交通の便を良くするよう考える必要もあると思う。
- ・塩田庁舎の活用はどうなっていくのか知りたい。塩田は歴史的な建物や文化がある。嬉野町の人たちも塩田に行きたくなるようにしていってほしい。
- ・高齢者の免許返納でタクシー券をもらうが、券が無くなると外出する機会自体が減ってしまう

ので割引制度に変えれないか。

・老人福祉センターのバスは細かくまわってくれて助かるが、利用者が減ってきているのを見て、利用し続けていた人も自分のためだけにまわってもらっては申し訳ないと気を使ってバスに乗らなくなったという話を聞いた。それで、ますます利用人数が減っている。

・バスやタクシー運転手で退職した人たちに働きかけて、半ボランティアのようなかたちでコミュニティバスを走らせてみてはどうか。

・老人には「きょうよう（今日の用事）」と「きょういく（今日行くところ）」が必要だと思う。

・交通の便が悪いので、友達が交通の便の良い福岡に引っ越した。

・バス停まで歩くのが大変な人や、大変な場所があるので、せめてタクシーがスムーズに通れるくらいに道幅を広げてほしいと。

・人口が減っている。嬉野に新しく住む人を増やすために、新しく住む子どもたちへのメリットをもっと作ってほしい。給食を無償化しているところもあると聞く。

・米の価格が高騰しているが、せっかく地元で米を作っているのので地産地消を進めて、農業者の利益も確保してほしい。

・給食の食器について、教育面や窯業の振興のために焼き物（強化磁器ではなく普通の陶器）にしてほしい。

・みゆき公園について、立派な茶屋があるが活用されていない。体育協会も頑張ってくれていると思うが、雰囲気的に入りづらい。多くの人が集まれる場所にしてほしい。

・インターチェンジからの並木道の剪定が刈りすぎているように感じる。管理は難しいとは思いますが、木がかわいそうに思える。

・シーボルトの湯への道順を示すような看板が少なく、気づかずに通り過ぎてしまって武雄温泉に行ったという話を聞く。今のデザインで若者の目を引くようなサインを作してほしい。

・街や公共施設の清掃などについて、シルバー人材センターにお願いするだけでなく、ボランティアを募る仕組みをつくれませんか。遠くからの人や観光協会も巻き込んでいけるように工夫してほしい。ボランティア活動をしたい人は一定数はいるはず。

- ・今年もボランティアで清掃活動をする予定なので支援をお願いしたい。

- ・塩田川沿いについて、県や国の管理の場所の倒木や落石などへの対応が遅い。

- ・温泉公園の向かいのブルーシートのところはどうなるのか？花見のシーズンになるがイメージが悪いと思う。

- ・専門学校について。近隣に専門学校が少なく福岡に行く子どもが多い。そしてそのまま福岡や東京で働くことになる。専門学校を誘致することはできないか。

- ・佐賀県立大の学長と親交がある。前橋にある大学では地域に根差した学びを行っていて人気があると聞く。佐賀県立大学でも、例えば嬉野で1年学ぶと単位を得られるような仕組みが可能と聞いているので取り入れてみてはどうか。

- ・多世代が利用できる子ども食堂を計画している。コミュニティセンターを会場として貸してもらうようにしているが資金面が不安。先々は自分たちで自立していきたいが、市の支援も少しでもお願いしたい。1人暮らしの高齢者や、子どもたちも集まれる場所にしていきたい。5月スタートを予定している。